

眠りCONNECTの導入

ご利用者の安全・安心と介護職員の業務負担軽減を目的に導入

「眠りCONNECT」とは、「眠りSCAN」で測定した情報を

用いてご利用者様の見守りを支援する介護施設向けのシステムです。マットレスや敷布団の下に敷くだけで、体動（寝返り、呼吸、心拍数など）を測定し、睡眠状態を把握できる見守りセンサーです。



ご利用者様のベッドすべてにセンサーユニットを設置しています。お部屋の状況を常にパソコンスマートフォンで「リアルタイムモニター」が表示されます。覚醒・起き上がり・睡眠・離床のアイコンが表示されます。状態に変化があった場合には、その情報が各端末に通知されリアルタイムで確認することができます。



測定したデータは日誌として、ご利用者様全体での閲覧も可能で長期的変動を記録、閲覧することができます。

○ご利用者様全体表示

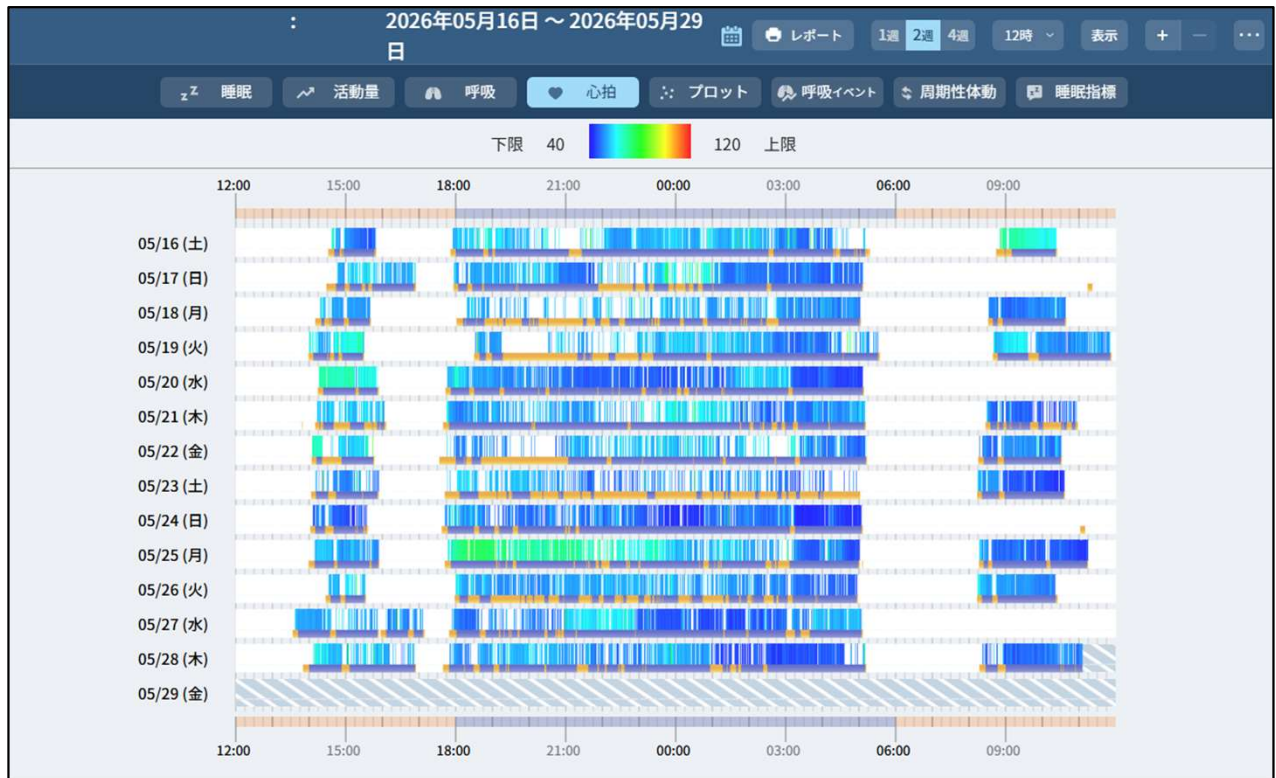


○ご利用者様個別表示

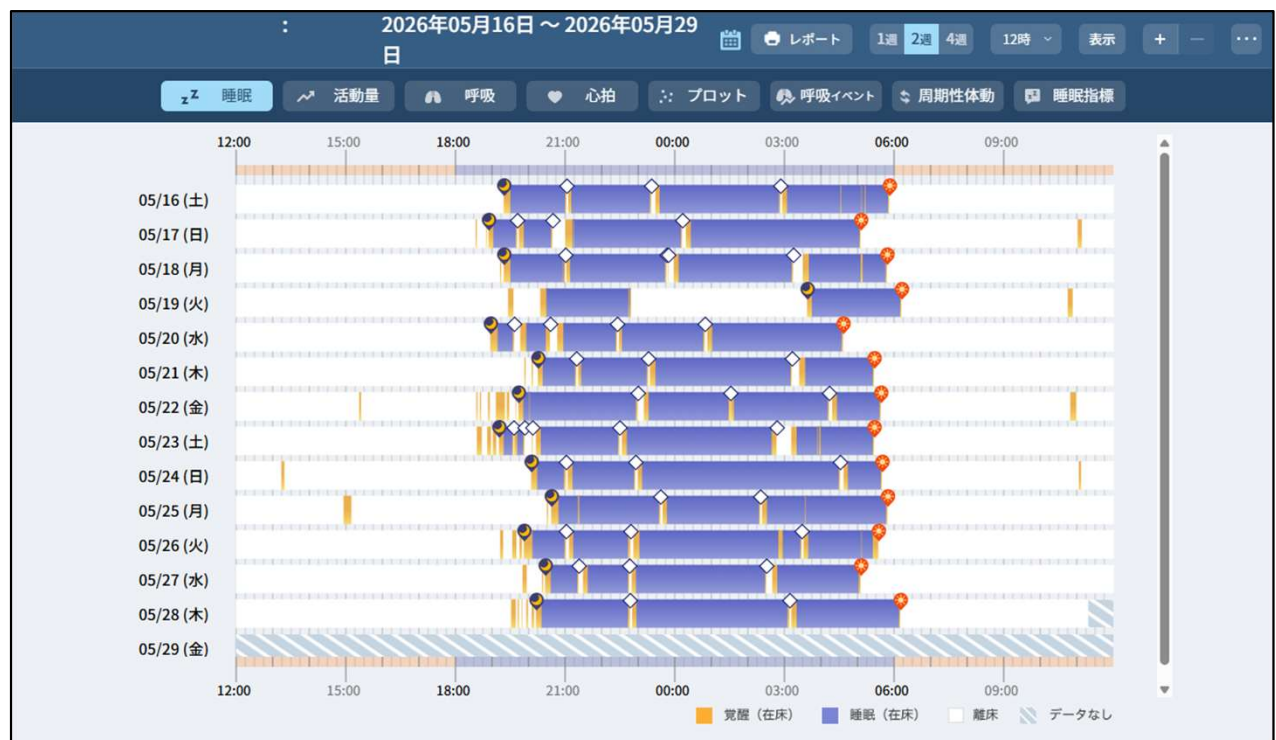
呼吸



呼吸



睡眠



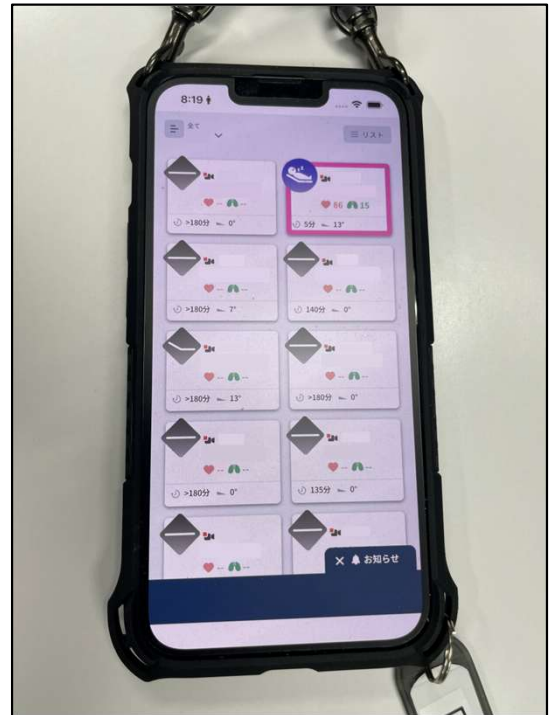
他に肺活量・プロットなどがあります。

ご利用者の睡眠や安静時間を邪魔することなくご利用者様の身体状況の変化を確認することができ、体調変化の早期発見、転倒等による事故予防等に繋がられます。又、データの分析により個別のケアに繋げることができるようになります。

パソコンと同じものがスマートフォンでも確認が可能です。



居室にセンサーユニットを設置すると中の状況を常にパソコンやスマートフォンで確認することができます。画像はプライバシー配慮の為、自動で顔にモザイク処理が施されています。



危険予兆動作が発生すれば職員のタブレットやパソコンに通知が届きます。すぐに映像で確認し対応することで転倒事故など防止することができます。